

病院における遊び環境を考える
第16回公開オンラインセミナー

病児の遊びとおもちゃケア

子どもは遊びを通して成長していくと言われるように、健康な子どもだけでなく病気の子どもにとっても健全な成長・発達のための遊びはとても大切です。

新型コロナウイルス感染症の影響で、制限のある生活を強いられている中でも、病児の遊び支援は歩みを止めてはいけなないと考えます。今年度の公開セミナーはオンラインでの開催、病児の遊びについての講演、活動実践報告を中心に、後半では実際に遊びの体験会を行います。

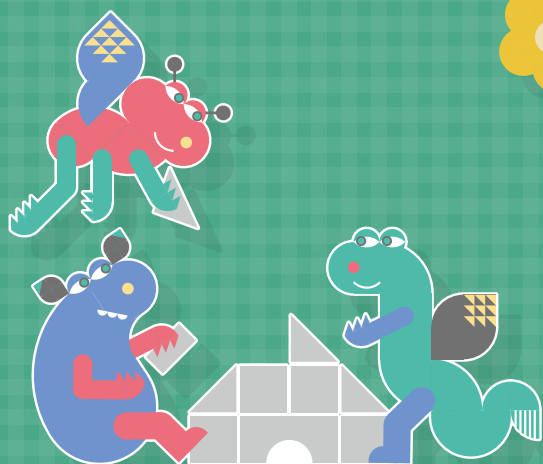
子どもたちが遊ぶことで少しでもその苦痛や緊張を忘れ、生活が楽しく豊かなものになるように一緒に考えてみませんか。



2021年
2月21日(日)
10:00 ~ 12:00

開催方法：オンライン開催(ZOOM)

資料代：1,000円(会員価格700円)
※教材(シフォン布1枚)含む



第1部 10:10~10:55

基調講演

感染のリスクなく「こども時間」を届けたい！
～クリニック라운のWebをつかった遊びの可能性～

講師：熊谷 恵利子
(認定NPO法人日本クリニックラウン協会 事務局長 クリニクラウン)

第2部 11:00~12:00

活動報告

コロナ禍でのオンライン病児の遊び支援 活動報告

- 認定NPO法人 芸術と遊び創造協会・東京おもちゃ美術館
- 認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク

活動紹介

難病の子どものためのおもちゃセット「あそびのむし」紹介

オンライン遊び体験

さあ、遊ぼうよ!オンラインで繋ぐ遊びの輪

「シフォン布」を使って、みんなで遊ぼう!おもちゃコンサルタント、プレイリーダー、障害児支援施設など、全国各地の仲間をリレー中継しながら遊びを紹介していきます。



病児の遊びとおもちケア

申込方法 ▶▶▶ 1月20日(水) 申込み受付開始!

PassMarketにて申込。先着300名まで。定員になり次第締切。
<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/0130v511d7hb8.html>

下記webサイトから、PassMarketの申込ページへ。
[WEBサイト] 認定NPO法人芸術と遊び創造協会 <http://goodtoy.org/>



2月10日(水)までにお申込の方には、セミナー当日までに教材おもちゃが届きます。
それ以降のお申込は教材おもちゃの到着がセミナー後になることがありますのでお早めにお申込ください。

- お申し込み後の返金は致しません。代理の方(対象者)が受講されることは可能です。ただし、お二人以上での参加の場合はお一人ずつ参加料をお支払いください。
- ZOOMのURLは前日までにはメールでお送りいたします。
- 当日は、開始5分前までに入室ください。(9時半より入室可能です。)
- 参加者の方の環境等が原因で発生したトラブル(入室できない、音が聞こえない、画面が見られないなど)につきましては、基本的に個別の対応や返金の対応は致しかねます。ご了承ください。
- 今回のイベントは事業実施の記録のため主催者側にて録画をさせていただきます。参加者の皆様は個人情報保護のためZOOM画面の録画や画像の保存はなさいませんようご協力の程よろしくお願いたします。
- イベント開催後、参加申込者限定で当日の動画を公開いたします。当日に参加できなかった方は、そちらをご活用ください。(期間限定公開)

プロフィール



講演

熊谷 恵利子 くまがい えりこ

(認定NPO法人日本クリニックラウン協会 事務局長 クリニクラウン)

日本で初めて養成された認定クリニックラウンの一人として設立当初から活動を開始。2009年度より事務局スタッフを兼務。啓発事業として医療・教育関係者対象の研修・講義などの講師を務めるとともに、養成・派遣事業の業務などを担当し、後進の育成や協会の組織基盤の強化を行う。2019年6月に事務局長に就任。赤い鼻の力を信じ、「こどもがこどもらしく過ごせる社会」「誰もが笑顔になれる社会」を目指し奔走している。

講演概要

クリニックラウン(臨床道化師)は、入院生活を送る子どもの病室を定期的に訪問し、こどもがこどもらしく過ごせる「こども時間」を届け、遊びやコミュニケーションを通して、子どもたちの成長を支えています。2005年に活動を開始し、15年間で83病院を3485回訪問し、約10万人のこどもたちに「こども時間」を届けてきました。クリニックラウンと出会うことで、こどもだけでなく大人も立場を越えて、その人らしさが引き出され、病棟内に豊かなコミュニケーションが生まれます。コロナ禍、クリニックラウンWeb事業をたちあげ、小児病棟へのWeb訪問を実施し、Webカメラをつかった遊びの時間を届けています。リアルでもオンラインでも、クリニックラウンならではのユーモアのあるコミュニケーションを展開することで、こどもは楽しさや喜びを感じることができるということを体感しています。今回は、オンラインの講演となりますが、楽しみながら、遊びの可能性について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。クリニックラウンの考え方やコミュニケーションの手法を学び、子どもたちの心を育む方法を一緒に体験しましょう。

芸術と遊び創造協会

<http://goodtoy.org/>

東京おもちゃ美術館

<http://goodtoy.org/ttm/>

認定NPO法人

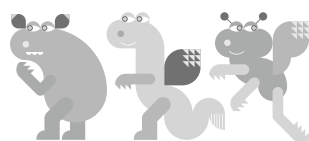
難病のこども支援全国ネットワーク

<http://www.nanbyonet.or.jp/>
TEL:03-5840-5972

優良なおもちゃをコミュニケーションツールとして活用し、多世代での交流を推進。新宿四谷の旧校舎を活用して「東京おもちゃ美術館」の運営やおもちゃコンサルタントによる全国180カ所の子育てサロン「おもちゃの広場」、医療施設内での子供の遊びケアなどの活動を行っています。

子育て支援事業部・石井・遠藤・雨宮 TEL:03-5367-9601

難病や慢性疾患、障害のある子どもとその家族を支えるために、親たち・地域の人たち・さまざまな職種を超えた人たちの3つのネットワークを生かした相談活動・交流活動・啓発活動・地域活動を行っています。病気の子どもと遊ぶボランティア=プレイリーダーの養成を行い、病院での活動を支援しています。



あそびのむし

東京おもちゃ美術館 X 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

日本財団と共同開発した難病の子どものためのおもちゃセット「あそびのむし」を2020年度は全国約100カ所の子ども病院、難病児や障害児のための通所施設等で広くご活用いただくために、日本財団の助成金を活用し配布事業を行っています。

<https://asobinomushi.mystrikingly.com/>



あそびのむし 参考ページ

「ママに笑顔を。おもちゃが紡ぐ親子の絆」
(日本財団ジャーナル)

<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal/issue/43273>